

令和8年度版自己点検・評価報告書（総評版）

令和8年9月17日
自己点検・評価委員会専門部会

千葉経済大学は、人材養成に関する目的及び教育研究上の目的並びに社会的使命を実現するため、教育研究活動等の状況について、三つの方針（卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針）に基づく評価基準を定めている。その上で、継続的に三つの方針に基づく自己点検・評価を行っており、教育の質と学生の学びの質の向上に努めている。

令和7（2025）年度の取り組みについての自己評価は、以下のとおりである。

1. 教育課程と学修成果（学習支援）

令和7年度から新カリキュラムを導入した。基礎ゼミの内容見直し、教養教育の充実（情報教育、キャリア教育、教養必修選択の導入）、社会の要請に応じた専門科目の整理などを行った。

社会の要請を踏まえ、データサイエンスやAI活用に長けた人材の養成を目的に、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの運営を開始した。

2. 入学者選抜（定員確保の対応）

指定校における特待生選定の基準を見直し（全体の学修成績の状況を4.3から4.0に下げ）、さまざまな高校からの優秀な入学者確保に努めた。

受験者の出願や受験準備の利便性を高めるような措置をとった。令和7年度からWeb出願を導入。また総合型選抜入試の事前課題について、オープンキャンパス時の説明会だけでなく、解説動画を作成しYouTubeで配信した。

広報の充実を図るべく、学校案内やWeb発信の充実、SNS活用の検討を進めた。

今後高校生向けの広報手段としてSNS活用していく。

3. 学生生活支援

令和7年度には学生同士の交流促進を目的に、学生部教員の協力のもと、学友会主催のスポーツ大会を開催した。

学内環境整備として学内環境整備として部室棟へのWi-Fi設置を決定し、学生の利便性と活動効率の向上を図った。

令和7年度から学生相談室がカウンセリング・センターの傘下に再編された。これにより、気になる学生に関する情報共有や合理的配慮への対応体制を強化し、多角的な学生支援を進めた。

今後さらに学生間交流を活性化するためのイベントを検討する。

4. 就職支援

企業の採用活動の早期化に対応するため、3年次生を対象とした就職活動準備支援の前倒しと内容の充実を図った。また新たに2年次を対象にキャリアガイダンスを実施した。

企業の選考過程において多く用いられている筆記試験に対応するため、SPI 試験対策講座を実施した。

父母等が本学の就職支援の内容や近年の就職活動の動向について理解を深め、学生の就職活動に対する関心と協力体制を醸成することを目的として、父母等向けオンデマンドセミナーを実施した。

5. 社会貢献

本学の公開講座である「オープンアカデミー」を年7回（うち2回は大学院担当教員によるビジネスパーソン向け講座）実施したほか、大学・短大の教員による地域研究通信の記事をホームページに公開した。

ボランティアセンターの働きかけで、本学学生たちが地域イベントでのボランティア活動に参加した。

6. 内部質保証

各年度で自己点検・評価報告書（総評版）とアセスメント・ポリシーに基づく各種指標の分析結果をとりまとめ、ホームページに公表している。

大学全体の課題を明確にし、学内で共有する体制を構築する必要がある。また、カリキュラムポリシーに掲げられた科目群について学修成果の到達度点検・評価をおこなうための体制についても合わせて構築する。

以上